

日時 10月9日(土) 9:30～11:35
場所 岡谷市カノラホール 大ホール及びりハ室
講師 菅野米蔵 先生 株式会社アイプラスプラス代表取締役社長
演題 「知的探究心と社会的使命 ー広い視野から柔軟な発想で課題に挑戦ー」

※一般の方もご自由にご参加頂けます。清陵HPもご覧下さい。

お問い合わせ: 長野県諏訪清陵高校 石城(教頭) 小嶋(担当)

電話 0266-52-0201 Eメール seiryohs@pref.nagano.lg.jp

HP <http://www.nagano-c.ed.jp/seiryohs/SSH/ssh-top.html>

1. 菅野 米蔵先生の紹介

1948年、福島県生まれ。72年、神奈川大学経済学部卒。アイワを経て、73年にシステムエンジニアとして日本IBM入社。78年、IBM ベーブリンゲン研究所 ICCF 研究開発(ドイツ)。83年、IBM ベーブリンゲン研究所 Network 担当 Manager(ドイツ)。91年、日本IBM、ボーイング 777 設計システム開発室長。92年、本社副社長補佐。93年、製造営業部部長。95年、日本IBMを退職し、ソフトウェア会社メディアグリップを設立、代表取締役に就任。

98年、盲人用生活補助装具の研究に着手します。2000年、イースシステム取締役副社長。01年、盲人用画像認識装具を特許出願。03年、盲人用画像認識装具、特許取得。そして05年、アイプラスプラスを設立し、代表取締役社長となり、09年2月、「AuxDeco(オーデコ)」が製品化され、発売が始まりました。

08年頃からは全国放映のテレビ番組などで多数紹介されるようになり、世界的にも大反響を及ぼしてきました。先生が文系出身であるということも、今回のフォーラムでは大変興味深く、意義のあることと思われま



2. オーデコ(Aux Deco)について

オーデコは、現在の日本だけでも約30万人にもものぼる視覚障害者にとって、額につけた機械ひとつで、前方にある視界情報を電気信号にして送ることで、ものが見えるかのように感知することを可能にした「夢の機械」です。

原理は、内蔵された小型カメラで写した目の前の様子を電気信号に変更して、額に刺激として伝えるという仕組みで、実際には視覚として映像が見える訳ではないのですが、その刺激を額の触覚で感じとった使用者は、前方にあるものが「見える」ようになるのです。

「オーデコ」の特長

- (1) 遠くにあるものがわかる。
- (2) 連続する動きがわかる。

オーデコは、人や車など動いているものを、連続した刺激で捉えることができます。

- (3) 平面的な情報がわかる。

白杖での伝い歩きがしにくい場所(商店街や駅構内など)、直角に交わらず渡りにくい交差点などで、障害物の有無や地面に引かれた白線、横断歩道などを捉えることができます。

